

令和5年 萩市議会 6月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	17	宮 内 欣 二	6月28日午前
2	11	森 田 哲 弘	
3	2	浅 井 朗 太	午後
4	4	小 林 富	
5	10	美 原 喜 大	
6	5	瀧 口 治 昭	6月29日午前
7	12	関 伸 久	
8	9	佐々木 公 惠	午後
9	7	村 谷 幸 治	
10	8	森 田 宗 和	
11	1	水 津 和 男	6月30日午前
12	6	松 浦 誠	
13	14	斉 藤 眞 治	午後
14	3	岡 崎 隆 志	
15	13	西 中 忍	

質問順位	1	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 地域医療の充実強化への取組みについて	1. 新型コロナ感染症のもとで、現実化した2次救急体制の危機とその対策について、体制強化に向けてどのような取組みをしていますか。		
2. 学童保育の現状と指導員の確保について	1. 学童保育指導員の人員不足への対応。 2. 指導員間でのパワハラに対する対応。 3. 施設整備の取組み。		
3. 総合事務所の体制強化について	1. 市長公約である総合事務所体制の強化の取組みはすすんだか。 2. 今後どのような取組みをして総合事務所体制を強化するか。		

質問順位	2	質問者	森田哲弘 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩市人づくり推進計画の「子ども・子育て支援事業計画」について	1. 子ども・子育て支援事業計画の5つの基本目標の中の子育てと仕事の両立しやすい環境づくりの推進について。 2. 保育施設の入園手続きについて。		
2. 萩市の第三セクターである(株)たまがわについて	1. 第三セクターである(株)たまがわの将来の構想についてお尋ねします。		

質問順位	3	質問者	浅井朗太議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 中学校の部活動地域移行について	1. 「休日の地域移行」へ向けた検討の進捗状況について。 2. 「地域移行」の実現にむけた課題について。		
2. 世界遺産の保存と活用について	1. 世界遺産の保存と活用のための人的体制について。 2. 大板山たたら遺跡の鳥獣害被害対策について。		
3. NPO法人により管理運営している菰市の施設の今後の運営体制維持について	1. 持続可能な施設運営のために必要な人員確保の取組について。		
4. 文字モニュメントによる旅行者発信型の観光誘致について	1. 文字モニュメントの設置による観光客誘致策について。		

質問順位	4	質問者	小林 富 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩市職員の定員適正化計画と採用状況等の現状は	<p>1. 萩市では持続可能な市政運営を目指し、適切な人員管理と配置による効率的な組織体制をつくるため定員適正化計画を実施しています。</p> <p>これまで総人件費の抑制を図ってきた第1次計画（平成17年度～平成26年度）、合併後の普通交付税減額を見越した第2次計画（平成27年度～平成31年度）が定められました。</p> <p>令和2年度から令和7年度までの期間には、現在の第3次定員適正化計画が定められています。本計画では、行財政改革やAI・RPA、民間などを活用しつつ、行政サービスを維持して地域の福祉や文化などの向上、一次産業から観光などの幅広い産業支援などの課題解決をする行政運営が目指されています。そして、人口減少や少子高齢化による人手不足が深刻な本市では、人財の確保と育成が重要な課題になっていると認識しています。</p> <p>上記の前提を踏まえ、たうえで本計画と現状の差異、そして、これからも持続可能な行政をするために現在の状況をお尋ねします。</p> <p>① 市長による施策が追加もしくは拡充された部・課に対して適切な人員配置、施策や予算だけでなく推進する人員体制の検討がなされているかお聞きします。</p> <p>② 一方、第三次定員適正化計画で示された定員と現状では、現業職が計画から大きく乖離しています。現業職は民間委託を前提として縮小する計画ですが差異の原因や長期的な影響をお聞きします。</p> <p>③ 人材確保に向けて新卒採用・社会人採用がありますが、それぞれの採用状況、そして、計画人数に対して採用人数がどうだったかをお聞きします。</p>		
2. 陶芸の村公園の今後について	<p>1. 萩市椿東地区に位置する陶芸の村公園はこれまで都市計画公園事業として都市計画決定されて整備されてきた公園です。現状では、管理事務所が設置されてグラウンド・ゴルフや催物広場や交流広場などの広場が多々あるほか遊具や日本一長い「ハギの花のトンネル」、萩焼オブジェや登り</p>		

	<p>窯などがあります。</p> <p>このロケーションは萩市を一望できるうえに「陶芸の村公園」という名前も付いていますが、現在の維持管理や活用方法は十分ではないという声をお聞きします。</p> <p>現在、設置されている管理事務所や既存の登り窯とその周辺を一体で活用した萩焼の振興や観光にも資する取り組みの検討が考えられますが、市の考えをお尋ねします。</p>
<p>3. 森林環境譲与税の用途と山林所有者の相談について</p>	<p>1. 森林環境譲与税は令和元年より萩市にも分配されていますが、その額は令和5年度当初予算では78,200千円です。一部は、森林環境整備基金に繰入となっていますが、令和6年度からは国税としてひとり年額1,000円の課税が予定されています。先般の全員協議会において森林・林業ビジョンが説明、本年3月に策定されました。</p> <p>現在、目的である適切な森林の整備等に向けた取り組みの状況についてお聞きします。また、所有者不明となっている山林や現在山林を所有している方々が高齢化していることも予想されることから相談体制はどうなっているか。そして、その後の森林整備や森林の有効活用をどう考えているかをお伺いいたします。</p>

質問順位	5	質問者	美原喜大議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 市の事務について	<p>1. 第3セクターにおける市の事務について、市の見解を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3セクターの市の事務を具体的に述べてください。 ・次の事案により、第3セクターの事務が市の事務になることがあるか。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 第3セクターへ市が50%出資している場合。 (2) 市長が公益性・企業性に関与すると言った場合。 (3) 市長が第3セクターの社長である場合。 (4) 会議に市の職員がオブザーバーとして出席していた場合。 (5) 総務省が第3セクター等の経営健全化に関する指針を出していることにおいて、第3セクターの全ての事務が、市の事務になるのか。 (6) 「5.21 (株)たまたがわの新規事業に係る萩市の関わりについての流れ」、により、執行部説明があり、これが原因で「市の事務」となるのか。 (7) 上記(1)～(6)により、第3セクターの契約事務まで市の事務となるのか。 (8) 市の事務は条例等で決められているのではないか。 		
2. 文化財行政について	<p>1. 大照院の経緯（令和2年6月以降）について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何故遅れているのか。 ・今後の市としての姿勢は如何に。 ・文化財は市内だけのものではない。周辺部の文化財も保存整備に（まちじゅう博物館構想に乗っ取って）努めて欲しい。周辺部への抱負を述べてください。 		

質問順位	6	質問者	瀧口治昭議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 道路沿線のごみの問題について	1. 広範な面積を持つ萩市ですが、他市町を結ぶ、また市内各地域を結ぶ道路は国道、県道、市道、農道、林道とその総延長は相当なものとなります。草木についてはこれまでも何度も質問をしてきましたが、今回は道路周辺に捨てられているごみについて、その対応と現状について、お聞きします。		
2. 環境教育について	1. 環境問題が世界において大きく取り上げられています。次世代を担う子供たちに対して現在どのような環境についての教育を萩市は実施されているのか、お聞きします。		

質問順位	7	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 伝建地区における固定資産税の減免はなぜ地区によって異なるのか	<p>1. 「萩市における伝統的建造物群保存地区の環境保存に資するため萩市税条例の特例を定める条例」について主に訊ねる。</p> <p>萩市には、京都市とならび4つの伝建地区があると聞き及んでいる。この条例は、主には伝建地区における固定資産税の賦課について特例を定めたものである。</p> <p>その第2条では、堀内地区及び平安古地区とそれ以外の地区（浜崎地区及び佐々並地区）による固定資産税の賦課の特例を定めている。</p> <p>前者では、公道との境界から10メートルを基準として定める土地について、固定資産税を減免するものであり、後者は、伝統的建造物として定めた家屋の敷地についてのみ、同税を減免するものである。</p> <p>条例の施行から17年が経過し、浜崎地区の住民から、同じ伝建地区でありながら、なぜ税の取り扱いが異なるのかとの声に接している。そこでお訊ねする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. なぜ税の取り扱いが地区により異なるのか 2. 伝建地区の指定にあたり浜崎地区の住民に十分な説明がされ、理解を得ているのか 3. 浜崎地区の住民からは、堀内及び平安古地区と同様の取り扱いはできないのかとの声があがっているが可能か 4. 伝建地区の指定を受けることで得られる財源措置について <p>伝建地区は、都市計画における用途地域に上乗せした規制であり、一定の制限が課されるものと理解している。よって、伝建地区の維持には、そこで暮らす住民の協力は欠かせない。については、浜崎地区住民の不満を解消すべく、改善できる道を探してほしい。</p>		

<p>2. 努力義務となった自転車ヘルメットに購入補助を</p>	<p>1. 市民から、努力義務となった自転車ヘルメットの購入に際し、何らかの補助が得られないかとの声が複数届いている。</p> <p>令和5年4月1日施行の改正道路交通法により、すべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となったことから、声があがっているものである。</p> <p>警察庁のホームページでは、自転車乗用中の交通事故で亡くなられた方の約6割は、頭部に致命傷を負っているとのことである。</p> <p>また、ヘルメットを着用しなければ致死率は、約2倍になるとのデータもある。</p> <p>山口県の自転車乗車中の死傷者は、令和3年で死者2名、負傷者347名、令和4年で死者3名、負傷者338名となっている。</p> <p>萩署管内では、令和3年、令和4年と死者はおらず、負傷者は令和3年で10名、令和4年で9名である。ここ数年、幸いにも死者はいないが、高齢化の進展とそれに伴う免許証の返納等の理由により、自転車に乗らざるを得ない高齢者は今後も増えてくるものと思われる。</p> <p>ついては、市民、特に高齢者の安心・安全を確保するため、自転車ヘルメット購入時に補助制度を設けることができないかどうか、お訊ねする。</p>
<p>3. 三見漁港の波止場に生息するカモメの駆除を</p>	<p>1. 三見漁港の波止場に、現在、多くのカモメが生息している。これまで波止場に栈橋がかかっていたが、これがなくなると天敵の侵入がないことから、途端にカモメが生息し始め、さながらカモメの楽園である。</p> <p>これにより地元住民からは、鳴き声がうるさくて窓を開けて眠れないとか、風向きが変われば糞尿の悪臭が漂うとの声が聞こえてくる。再度、栈橋をかけ、波止場に人の出入りをさせれば、カモメも退散するとの声もあるが、漁協や漁師は、船の往来に支障が出るため、栈橋をかけることは望んでいない。</p> <p>ついては、漁港管理者として、栈橋をかけずにカモメを駆除することができないかお訊ねする。</p>

質問順位	8	質問者	佐々木 公 恵 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 視覚障がい者や高齢者など誰にでも優しい情報アクセシビリティ向上の推進について	<p>1. 日常生活用具として導入されている視覚障がい者用活字文書読上げ装置などの利用状況について。</p> <p>2. 本市の音声コードを使った印刷物について。</p> <p>3. スマートフォンで再生できる音声コード Uni-Voice の導入について。</p>		
2. 「COCOLO プラン～誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策～」を受けての不登校支援のさらなる推進について	<p>1. 「保護者の会」の設置など不登校の子どもを持つ保護者支援の今後の取組みは。</p> <p>2. 教室に行きづらくなった児童生徒が落ち着いた空間で学習・生活できるスペシャルサポートルーム等の現在の設置状況と、今後の取組みは。</p> <p>3. 不登校の児童生徒が学びたいと思った時に多様な学びに繋がれるようオンラインによる指導体制の現状と今後の取組みは。</p> <p>4. 高校進学を支援するため、多様な学びの場におけるオンライン指導やテスト等による学習成果の成績への反映の状況と、今後の取組みは。</p>		
3. おくやみコーナーの設置について	<p>1. 死亡に伴う手続きについて。</p> <p>① 死亡届の受理件数の近年の状況は。</p> <p>② 死亡に伴う手続きの申請書は何種類あるか。</p> <p>③ 申請の提出はいくつの窓口に分かれているか。</p> <p>④ 申請に伴う手続きの流れは。</p> <p>⑤ 対応時間はどれくらいか。</p> <p>2. 内閣官房情報通信技術(IT)戦略室が提供するシステムを使い「おくやみコーナー」を設置する自治体があるが、どのように認識しているか。</p> <p>3. 市民の利便性向上のために「おくやみコーナー」を設置する考えは。</p>		

質問順位	9	質問者	村谷幸治 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 法定外公共物（赤線・青線）の取扱いについて	1. 昨年、質問して以降の研究成果についてお聞きします。また、里道、水路について、市の責任が関係してくる箇所についても、地域で管理しなければならないのかお聞きします。		
2. 「夢プラン」の活動状況について	1. 各地域で策定された「夢プラン」について、コロナ禍が明けてどのように進めていくかお聞きします。		
3. 電動キックボードの利用について	1. 道路交通法の改正による電動キックボードの利用について、市ではどのように指導していくかお聞きします。		

質問順位	10	質問者	森田宗和 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩市高等学校生徒通学費支援事業について	<p>1. 萩市高等学校生徒通学費支援事業は、前市長がつくられた支援事業ですが。私は、なぜこんな事業が議会で、可決したのか疑問に思っています。不平等この上ない事業です。率直にお聞きします。税金をきちんと支払っている市民のお子さんが、萩市指定の高等学校に行かないと交通費の支援が受けられない。なぜですかお聞きします。</p> <p>2. この春に、ある生徒が将来農業を目指し、大津緑洋高等学校日置キャンパスに入学されました。毎日萩から長門市駅で乗り換え日置駅まで通っています。この生徒は、萩市高等学校生徒通学費支援事業に該当しないと聞きましたがなぜですか。</p> <p>3. 萩市教育委員会は、小中学生に吉田松陰先生の立志を、教育指針に掲げておられますが、志を立て、大津緑葉高等学校日置キャンパスに通うこの生徒、また、志を立て、山口市の高等学校、長門市の高等学校、益田市の高等学校へ公共交通を利用通学する生徒は、平等に支援するのが当然と思いますが、何故、支援できないのかお聞きします。</p> <p>4. この支援事業には、所得制限が設けられていますが何故なのかお聞きします。</p>		
2. インクルーシブ公園について	<p>1. 本年度3月25日防府市では、新築地町の防災広場（メバル公園）にインクルーシブ遊具を設置されました。市によると、船をイメージしたインクルーシブ型の複合遊具とブランコ、回転遊具を整備。メバルシップが愛称の複合遊具は車いすでも入れるようにスロープを設けたほか、滑り台や、回転させると音が鳴るドラムパネル、段差を小さくしたステップ、休憩できるベンチを備えています。ブランコは通常のタイプと、落下防止の装置が付いたシートタイプの2種類が並んでいます。回転遊具は車いすのまま遊ぶことが出来るそうです。防府市は、宝くじ社会貢献広報事業を充てました。</p> <p>市は、今後も、各小学校区の公園にインクルーシブ遊具を設置、希望する保育園にも支援するとの事でした。</p>		

	<p>また、宇部市は、5月27日山口宇部空港隣接の公園に、大型インクルーシブ公園をオープンしました。宇部市は、県が管理する1200平方メートルに、飛行機、空港、空をテーマに約1億500万円をかけて設置しました。車いすのまま遊べる砂場や、セーフティーシート付ブランコ、回転遊具など、小さいお子様や、障害のある子供も遊べます。宇部市は、よりよい子育てしやすい街を目指してテーマに実施しました。萩市も、インクルーシブ遊具を設置するなど「仲間はずれしない」「みんな一緒に」のテーマパークにしていきませんか。お聞きします。</p>
<p>3. 2次救急体制の維持について</p>	<p>1. 統合問題が長引いております。先般、萩地域医療協議会が、萩市民病院、米澤文雄院長と、都志見病院、山本達人院長も出席のもと開催されました。特に、2次救急の維持が深刻度を増しているとの意見が多くあったそうです。市民病院の米澤院長は、「中核病院の形成が進まない中、ただ座っているわけにはいかない」場合によっては、地域医療連携推進法についても考えていきたい。と意欲を示しておられましたが、私も賛成であります。統合問題が決まらない中、萩市民を守る意味からも、萩市民病院、都志見病院が連携してこれからの2次救急を充実していくべきと思いますがお聞きします。</p> <p>2. 萩圏域で補われない場合は、圏域以外の病院と連携、システムを作っていかなければと思いますがお聞きします。</p>

質問順位	11	質問者	水津和男議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 漁業改革のための継続的な取り組み	<p>1. 3月19日にさくらフグ祭りがありました。真フグのPRとしての企画でしたが大変良いことと思います。この結果を大事にして欲しいと考えています。この結果を評価し次に繋げることが大変重要になっています。そこで、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭りとしての評価はどうであったか。 ・とらふぐとの差別化を今後どのようにしていくか。 ・漁場の開発をどうしていくか。 ・市場の開発、加工場の確保をどうしていくか。 <p>2. ガンガゼウにの駆除と利用方法について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駆除した場所には、海藻が復活。是非駆除を徹底して欲しい。 ・廃棄処分にはコストが掛かる。利用方法は無いのか。 <p>3. しろうお祭りが本年度中止となった。その後、川底の産卵状況は良さそうであるとの報道があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この産卵を囲い込むことが次年度に繋がると思われるがこのような対策が取られているか？ ・上流からの栄養分ミネラルがどのような状況なのか把握する必要があると思うが如何？ <p>4. 漁業に関する、課題・問題点について、関係者間の共通認識はされているか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協、萩市農林水産部、山口県萩水産事務所、山口県栽培漁業公社などとの具体的な取り組み。 		
2. 障がい者にやさしいまちづくりについて	<p>1. 昨年10月に文書で、視覚障がい者に配慮した信号に改善を依頼したが、約半年間、音沙汰無しであったため4月に確認したところ設置はOKだが実施は県の公安委員会待ちとのこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民から要望があったことに対して、まず一次回答すべきではありませんか。 ・予算的措置があるが、生命に関することや安全に関することは優先すべきではないか。 		

<p>3. 有害鳥獣対策の進捗について</p>	<p>1. 今年度の計画地域はどちらですか。 2. 野猿対策について</p>
-------------------------	--

質問順位	12	質問者	松浦誠議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 自治会・町内会について	1. 自治会・町内会の人口減少等による現状と課題について 2. 電子回覧板等のデジタル化の取り組みについて		
2. 福祉タクシーについて	1. 車いすの方の福祉タクシー利用による補助金設置について		
3. 離島の方の移動支援について	1. 定期船乗り場に移動の為の車等の設置について		

質問順位	13	質問者	斉藤真治議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 危険大型空き店舗対策について	1. 危険大型空き店舗の安全対策について 市民生活に与える影響への対策は。		
2. 萩・小郡間地域高規格道路(絵堂萩道路)の整備について	1. 令和5年度の要望行動について 「要望書」の取扱いは。		

質問順位	14	質問者	岡崎隆志 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 食品衛生法改正による市内事業者への影響は	<p>1. 令和3年6月に施行された改正食品衛生法により、食中毒のリスク等を考慮し、許可業種、届出業種、それ以外の業種に区分されました。</p> <p>令和3年6月1日時点で新たに許可が必要となった業種を営んでいた事業者は、経過措置期限（令和6年5月31日）までは許可を受けずに営業することができますが、令和6年6月1日以降も引き続き営業する場合は、期限までに許可を受けなければなりません。</p> <p>ただし、許可業種で令和3年6月以降、新たに食品の製造・加工を始める場合は許可を取得するまで営業できません。</p> <p>新たに許可が必要となる業種としては、既にご承知の漬物製造業のほかに、水産製品製造業（いりこ・魚の干物等）、食品の小分け業、液卵製造業、密封包装食品製造業（密封され常温流通する食品）、そうざい製造業（そうざい半製品の製造）、などがあります。</p> <p>萩市の基幹産業の一つでもある水産製品製造業をはじめとするこれらの業種は、萩市の観光と市民の食を支える、本市にとって重要な産業です。</p> <p>経過措置期限まで残り1年余りとなる本年4月下旬に、対象事業者の一部の方々からお話を伺ったところ、許可取得済みの事業者はそのうち僅かで、それ以外の事業者さんたちは、同業者間で情報交換されていますが、得ている情報が一律でなく、どのように対応するのが良いのか分からない、という状況でした。</p> <p>また、聞くところによると、後継者のいない高齢の事業者さんからは「新たに設備投資しなければならないのであれば辞める」という声もあるとのことで、この食品衛生法改正がトリガーとなって廃業を検討する事態となっているそうです。</p> <p>経過措置期間まで残すところ11か月と迫っています。萩市としては、この食品衛生法改正による市内への影響をどのようにとらえているのかお尋ねします。</p>		

<p>2. 持続可能な農業実現のための市長のビジョンは</p>	<p>1. 市長の任期も折り返し地点を回ったところですので、残り2年間、萩市の農政をどうするのか、そのビジョンについて改めて質問いたします。</p> <p>この2年間の農業政策を振り返ると、私の提言にご対応いただいたものもいくつかございますが、主な内容は、感染症や物価高騰への対策であったように感じております。これには農業者の一人として率直に感謝を申し上げたいと思います。</p> <p>しかしその裏で、アフターコロナに向けて着々と準備を進めていた自治体もございます。おとなり長門市では、中国地方で初めて、有機農業に地域ぐるみで取り組む産地「オーガニック・ビレッジ」を宣言したと聞き及んでいます。</p> <p>また1年前、6月定例会の一般質問では「みどりの食料システム戦略」にどう対応していくのかについてお尋ねしましたが、このいわゆる「みどり戦略」の一環で、環境負荷低減に重点的に取り組むモデル地区が、12県23市町で設定されたことが農林水産省のまとめでわかった、という記事も目にしております。このモデル地区では、国の交付金が優先採択されるなどの支援を受けられる、とあります。</p> <p>これらの市町は、感染症や物価高騰の影響がなかったわけでは無く、その影響を受けながらも、その後を見据え、準備を進めてきたのだと推察します。</p> <p>なぜこれが出来たのか。それは今後の農業政策に対する明確なビジョンがあったからであると思料します。それぞれの自治体はその市町の農業をどのようにしていきたいのか、その方向性が定まっている、要するにビジョンがしっかりしているということに他なりません。</p> <p>私の目から見る限り、萩市にはこれが見えてきません。</p> <p>現状、萩市の農家の高齢化はあらためていうまでもありません。それに新規就農者および新規就業者の数が全く追いついていないことも事実です。</p> <p>今後どのようにして萩市の農業を持続可能なものへしていこうとするのか、市長のビジョンをお尋ねします。</p>
---------------------------------	---

質問順位	15	質問者	西中忍議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 厳しい看護師不足へどう対応するか	<p>1. 萩市民病院は、看護師不足が恒常化していると聞いていますが、このような状況は、多少の差はあるかもしれませんが、市内の医療機関でも同様ではないかと考えています。一方、市内には県立萩看護学校や萩市医師会が運営している萩准看護学院があります。</p> <p>特に、萩准看護学院の学生のほとんどは市内の若者で市内の医療機関に就職していることから、若者の市外流出の抑制にもつながっていると思います。</p> <p>だからこそ、市として萩准看護学院への進学を後押しする制度を創設するとともに、卒業後、県立萩看護学校へ進みやすくする制度を作り、看護師を育成する必要があると考えています。</p> <p>そこで、萩准看護学院や県立萩看護学校へ市内の若者が進学しやすくする制度の創設ができないかお尋ねします。</p> <p>あわせて、山口県と連携しながら、萩准看護学院の入学生を市外・県外など、広域的に募集することができないかお尋ねします。</p>		
2. 行政と市民の協働に伴う市民の負担軽減をどう考えるか	<p>1. 私は、行政と市民は様々な場面で協働する必要があると考えていますが、特に町内会単位で協働しているものは、高齢化等で大変に厳しい状況になっています。</p> <p>このような状況の中、田中市長はこれまで月に1回だった広報はぎの発行を偶数月だけ2回に増やしました。</p> <p>そこで市長は、町内会の現状についてどのように認識し、広報はぎの配布を増やしたことで町内会へどのような影響を与えていると考えているかお尋ねします。</p>		

<p>3. 中核病院の形成は どうなるのか</p>	<p>1. 田中市長は、就任直後、それまで順調に進んでいた中核病院形成の議論をストップさせたうえ、県から派遣を受けていた副市長や専門職員を自ら返したことから、県との連携もまさにゼロベースにしたうえ、県との信頼関係に至っては、ゼロどころか大きくマイナスにしたと私は考えています。</p> <p>あわせて、市長が取ったこの行動は、萩保健医療圏の危機的状況に拍車をかけたと思っています。</p> <p>そこで、市長は中核病院形成の流れを止めた政策についてどのように総括しているかお尋ねします。</p> <p>また、県から派遣された職員を自ら帰したことで、中核病院の形成にどのような影響を与え、このことで山口県との信頼関係がどうなったと考えているかお尋ねします。</p> <p>あわせて、中核病院の形成に関し、市長自身はこれまで何をしてきたのかということについてもお聞きします。</p>
-------------------------------	---